

《HP用更新版・小澤英世 プロフィール》



1959年上水内郡信濃町、仁ノ倉生まれ。東京都町田市在住。

【学び舎(や)】

旧・塩田町(現上田市)若葉保育園、佐久市立中込小学校及び同中学校、長野県野澤北高等学校をへて、1982年桐朋学園大学音楽学部卒業。

1986～2004の18年間、国内在のまま、パリ在住のJean Fassina氏に集中訓練を受ける。

【師事恩師】

佐々木方子、金澤希伊子、安川加壽子、上記ジャン・ファシナの各氏。

【あしあと】

旧・信濃國小県(ちいさがた)郡にある大樹「大六の櫨(だいろくのけやき)」のもとで物心つく。

そこに住んだ5才よりピアノを始め、このころポケット昆虫図鑑をすべて覚える。

1967～74年・人前で最初のベートーヴェンそしてモーツァルト演奏。

1974年・美術班に入部(高校)。

1976年・17才の時テレビ asahi 系「題名のない音楽会」にて、東京交響楽団とのベートーヴェン協奏曲 WoO4 (※「皇帝」ではない) で出演。

1978～9年・児童劇や演劇、創作ダンスのために作曲を始める。

1982年・桐朋学園大学卒業、皇居内での御前演奏のご縁を頂き、また東北・四国はじめ国内全域への訪問演奏を開始。

1986年・最初のフランス渡航、この年をデビューとして1998年までに長野と東京にて5企画のリサイタル。

1991年・イタリアにて小澤郁子(ヴァイオリン)と共にパルマ・ドーロ国際コンクール「デュオ部門」特別賞、同年自主のリサイタル企画「ロマンの工房 (アトリエ)」開始。

2000年・同「工房」のベートーヴェン・シリーズ開始、2017年現在#20 (全21回完結予定)。

2002年・小諸高等学校音楽科の委嘱で、合唱と管弦楽のために祝祭的な「ソラマメの春への讃歌」を制作。

◆1997年以降現在まで、様々な音楽家やパフォーマーをともなうツアーやショー、ソロでの特別リサイタルを全国的に展開している。(京都と東京における「華麗なる饗宴」5年連続公演、小諸市文化会館の「雅とベートーベン」、佐久穂町スタインベルクピアノ記念事業での「修復記念披露コンサート」「友に捧ぐ」「アップライトピアノ寄贈記念コンサート」の3大企画、野沢南高等学校ベヒシュタイン修復記念披露コンサート「慈愛とベートーベン」、小海町や佐久市における「ベートーベンの杜」、「故郷とベートーベン」など)

●現在、いつしか、またの名を「(ソラ)まめ先生」とされ、桐朋学園大学および附属高等学校、小諸高等学校音楽科、各講師。また、学校や規模の大小をとわず公開講座、出張演奏やレッスンにも意欲的に全国を訪れています。

●FB や、サイト「スタインベルクピアノに集う人たち Vol.10」(長野県佐久穂町 HP からも見られます)、その関連の動画いくつか、これらもぜひ併せてご参照ください。

◆以下は、ご参考付記：

【主な共演者歴】(敬称略)

宮下要、名倉淑子、小林久子、中澤きみ子、高橋節子、荻野照子、梅沢和人、古澤巖、古谷いづみ、高橋恵子、小澤郁子、奥村愛、加藤晃、上田明子、古橋綾子、生駒智子、丸山倫代、三ツ木摩理、大宮臨太郎、蓑田真理、川又慶子、田代裕貴、佐久間聡一(以上ヴァイオリン)、安達いづみ、続橋直子、藤村政芳、眞中望美(以上ヴィオラ)、雨田光弘、飛山宣雄、間瀬利雄、寺島都志子、古谷真未、

大藤桂子、森田香織、三森未来子、平泉泰興、高木慶太、宮坂拓志、長谷川陽子、三宅依子、松谷明日香、朴哲根（以上チェロ）、津田礼仁、田中伸司（以上クラシックまたはタンゴ・コントラバス）、中村忠（フラウト・トラヴェルソ）、西田紀子、野口マリ子、藤美智子、今井亨（以上フルート）、田淵哲夫（オーボエ）、伝田高廣、兼氏規雄、小川道子、粟生田直樹（以上クラリネット）、高橋誠一郎（ファゴット）、**Syunzou Oono**（大野俊三、ジャズ・トランペット）、牧野徹（クラシック同）、高根浩喜、井上康一（以上トロンボーン）、松下浩幸（チューバ）、荻原松美（パーカッション）、穴吹久男（ジャズ・ドラム）、小山弦太郎（サクソフォン）、小林玲子、黒沢久美子、ふるいち善子、小池芳子、菅千鶴子、林満理子、平松亮子、柳沢亜紀（以上ソプラノ）、牧川典子、谷本綾香（以上メゾ）、近藤允弘、牧川修一、持木弘、田代誠、井ノ上志朗[当時]、兎束康雄、岡本泰寛（以上テノール）、シュウミン（二胡）、東儀秀樹（雅楽）、セキライ（揚琴）、藤原道山（尺八）、嵯峨弦楽四重奏団、カルテット・ボミエ、カルテット・カノーロ（以上弦楽四重奏団）、東京交響楽団、新星日本交響楽団[当時]、NHK交響楽団団友オーケストラ、他にアマチュア数ヶ団（以上管弦楽団）、鶴園紫磯子、松浦真沙、坂原美菜、須田桃香（以上ピアノ・デュオの相方として）、桜井麻美（語り弁士）、福田一雄、内藤彰、稲田康、田中一嘉、甲斐正雄、飯吉高、鷹羽弘晃（以上指揮）、他多数。

【他に、各界の恩人】（分野別、履歴順、敬称略）

市川良子、Hans Kann、岩崎淑、George Sebok、Vlado Perlemuter、France Clidat、Adrian Cox、木村徹（以上ピアノ）、野村光一（評論）、Igor Ozim、Ana Chumachenco、Aaron Rosand、Philippe Hirschorn（以上ヴァイオリン）、Francois Guye（チェロ）、カルミナ弦楽四重奏団、末吉保雄、三善晃、飯沼信義、平吉毅州、甲斐正人、鈴木輝昭、有島重武（以上作曲）、小澤平、佐藤俊夫、山浦博（以上洋画家）、芳澤一夫、土屋弘彰（以上日本画）、山内やす雄、小松隆、末永明彦、日下(三浦)秀和、富田稔英、武志政幸（以上演劇、脚本、演出、制作）、小澤高志（イタリア・ルネッサンス舞踏）、河合雅博（人形作家）、久米博（哲学）他多数。

【主な CD】

「リサイタル1991」（カザルス・ホール・ライブ、ショパンとリスト選集）

Klaviassist

「家路への幻想」（中澤きみ子氏アルバムにて編曲とピアノ担当）**KATC102**

「現代日本二台ピアノ作品セレクション」（正門憲也作品の演奏）**ART UNION**

「太陽のハーモニー」（愛唱歌集・合唱の伴奏）**SE001-0712**

「美しい歌と響き」（東洋楽器等との合せの編作曲と演奏）SAA 企画

【主な他者作の初演現代曲】

鎌田実：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ（1982年）

中川俊郎：ピアノのための Trans-figuration（1983年）

正門憲也：遊戯第 14 番「鐘」－2 台ピアノのための（2003年）

同：「アリとキリギリスのお話」－ソプラノと語りとピアノのための（2006年）

同：遊戯第 18 番「浮舟」－フルートとチェロとピアノのための（2009年）

青山政憲：「葵の上」－フルートとチェロとピアノのための（2006年）

宮川慎一郎：「境界線上のエクスタシー」－フルートとチェロとピアノのための（2007年）

平井和音：「夕顔」－フルートとチェロとピアノのための（2008年）

宮澤郁昭：「浮舟」－フルートとチェロとピアノのための（2011年）[以上五作、「源氏物語」による「華麗なる饗宴」連続委嘱五部作]、他。

【おもな自作編曲】

「ソラマメの春のメドレー」「ソラマメの夏のプレリュード」「ソラマメの秋のメドレー」「ソラマメの冬とクリスマス」「ふるさとの丘の上のソラマメ」「ふるさとのまめチュード」「ソラマメの春への讃歌」（以上、多様な機会・楽器編成に応じて 1990 年頃～2012 年にかけて制作）、「中山田メドレー」「世界の子守唄メドレー」（以上 2007 年）、「与作は美しく青き木を伐らない」（2002 年）、「Yo-Sa-Ku ファンタジー」（1990 年代以来、常に可変新版制作中）、「Ko-いぬのおまわりさん」（1990 年代終わりころ）、「高木晃一の詩によるソラマメ's ラプソディ」

（2006 年）、「ソラマメの街の歌」（2000 年代）、「2003 年桐朋学園仙川旧校舎中庭における、桐朋祭学生会オーケストラによる、ガーシェイン：ラプソディ・イン・ブルーのソロ自演即興カデンツァ部」、「大きな木へのマメリュード」（2015 年）、「ソラマメの夢のタンゴ」（同）、「木管五重奏のための、秋のマメドレー」（2016 年）、「14 のフレンチホルンのための、春マメのほるんず'ラプソディ」（2017 年）他。